

調査票（案）に対するご意見と市の検討結果について

去る11月30日の介護保険運営協議会でご協議いただいた「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」及び「在宅介護実態調査」の調査票（案）について、委員の皆様からいただいたご意見に対する市の検討結果を下記のとおりご報告いたします。また、修正後の調査票は別添のとおりですので、あわせてご確認ください。

なお、本調査は、1月25日頃に調査票を対象者に送付し、2月10日までにご返送いただくこととしております。

記

(1) 共通項目

ご意見の内容	検討結果
選択肢に「その他」があるものについて、内容の記述欄がないものがあるが、「その他」の内容を把握できるようにすべきではないか。	「その他」の選択肢がある全ての設問について、内容の記述欄を追加しました。
複数回答を可能とする設問について、ニーズ調査では「○はいくつでも」や「○は3つまで」と表記される一方、在宅介護実態調査では「複数選択可」や「3つまで選択可」と表記されており、冷たく感じる。	在宅介護実態調査の表記をニーズ調査と同様の表記に改めました。
設問数が多く、途中で回答をやめてしまう人もいるのではないか。	各調査の「ご注意」又は「調査に際してのお願い」のなかに、「回答が難しい設問は回答しなくてもかまいません。（中略）すべての回答ができない場合でもご返送ください。」との記述を追加しました。
ニーズ調査の問1(1)では「家族構成」と表記される一方、在宅介護実態調査「A票」の問2では「世帯類型」と表記されており、ニュアンスが異なる。表記を統一できないか。	国が定める必須項目であり、回答の選択肢も異なるため、表記の統一は困難ですが、在宅介護実態調査の「世帯類型」を「あなたの世帯」と改めました。

(2) 介護予防・日常生活ニーズ調査

ページ	設問番号等	ご意見の内容	検討結果
P.4	問1(7)	選択肢に「民間賃貸住宅（一戸建て）」と「借家」がある。両者の違いが不明確で、回答者によって解釈が異なる可能性があるのではないか。	「契約書を交わしている住宅は「賃貸住宅」を、間借りや下宿、その他契約書を交わしていない住宅などの場合は「借家」を選択してください。」との注釈を追加しました。

ページ	設問番号等	ご意見の内容	検討結果
P.6	問3（6）	自分の歯と区別することが難しい入れ歯もあり、正確な歯の数を把握するのは難しいのではないか。	「差し歯は自分の歯に含めます。」との注釈を追加しました。
P.14	問9（3）	認知症の症状の有無を尋ねているが、認知症かどうかわかりにくい場合もあり、調査結果にブレが生じる可能性がある。設問文に何らかの配慮が必要ではないか。また、選択肢に「わからない」を追加すべきではないか。	後述する在宅介護実態調査「C票」問3と同様の修正を行うことについて検討しましたが、国が定める必須項目のため、変更しないこととしました。

(3) 在宅介護実態調査

ページ	設問番号等	ご意見の内容	検討結果
P.7	「B票」問7	主な介護者の勤務形態について質問しているが、学生など若年層の介護者を把握する選択肢が必要ではないか。	選択肢に「学校などに通っている。」を追加しました。
P.10	「C票」問3	認知症の症状の有無を尋ねているが、認知症かどうかわかりにくい場合もあり、調査結果にブレが生じる可能性がある。設問文に何らかの配慮が必要ではないか。また、選択肢に「わからない」を追加すべきではないか。	設問文を「認知症または認知症のような症状がありますか」に改めるとともに、選択肢に「わからない」を追加しました。
P.10	「C票」問5、問6	介護について経済的な不安を感じる人も多いことから、そのような実情を把握するための設問を追加すべきではないか。	問5「現在の暮らしの状況を経済的に見てどう感じていますか」 問6「現在、調査対象者ご本人様のために家族が負担している費用はありますか」 の2問を追加しました。

※上記以外にも、設問の趣旨が変わらない範囲で設問文を修正したり、配置等を調整した箇所があります。